

相続・不動産処理問題

ターミナルケア問題

痴呆性老人対策問題

情報・メディア問題

③ 高齢者問題

家政・生活設計・生活改善問題

健康で自立的な高齢者の社会的役割の問題

3世代の交流と協力の具体的問題

ボランティア並びにコミュニティ活動問題

趣味・スポーツ・文化問題

孤独・生きがい問題

老年心理問題

宗教問題

生命・医療・福祉をめぐる倫理問題

(2) 情報セクター

① 調査室

調査室は主に次の2つの調査を担当，推進する。

ア 5年に1回の全国一斉高齢者調査並びに，国際比較調査を行い，研究の基礎資料を整備する。特に75歳以上の後期高齢者の生活実態と生活意識に関する調査を重視したい。

イ 全国約10か所にモデル調査地域を設定し，年2か所ずつの総合調査を行い（したがって5年毎周期の調査であるが），これを長期間続けることによって高齢社会化を具体的に追跡し，特に地域，自治体レベルの政策形成に寄与する。

② 資料室

高齢社会・高齢層・高齢者問題をめぐる情報の整理・公開をするための資料・図書室ないしデータ・バンクを置き、広く研究者並びに国民、自治体、省庁、研究機関に開放する。特に75歳以上の後期高齢者の全国的な資料の収集に努力する。

(3) 研修セクター

研究者（大学院生を含む）並びに実務家と政策担当者の質を向上させるために、省庁、自治体、企業体、大学などの研究機関及び高齢者問題に関連する諸団体から短期・長期の研修員を受け入れることにより、研修の運営・管理並びに総合研修プログラムの開発に当たり、数多くのキーパーソンズを養成する。

(4) 公開活動セクター

学術的な研究成果のみならず、一般向けの啓蒙書や雑誌を出版するとともに、国際交流も兼ねて各種の研究発表会、公開シンポジウム、公開講座などを開催する。高齢者並びにその介護者のための生活相談機関も設ける。

(5) 国際交流セクター

国際会議の開催、人物の交流、情報の交換だけではなく、海外から研究者や研修生（大学院生を含む）も受け入れて共同研究を行うと同時に、研究者・政策担当者の海外派遣にも努力する。

（以上）